

いすゞ、ラグビーワールドカップにおける オフィシャルオートモーティブパートナーシップ契約を締結

いすゞ自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長 CEO：山口真宏、以下「いすゞ」）は、世界のラグビー統括団体であるワールドラグビー（本部：アイルランド・ダブリン、CEO：アラン・ギルピン）との間で、2027 年および 2029 年にオーストラリアで開催されるラグビーワールドカップ（以下「RWC」）2 大会を対象としたオフィシャルオートモーティブパートナーシップ契約を締結しました。いすゞは本契約により、2027 年に開催される男子 RWC2027 および 2029 年に開催される女子 RWC2029 の両大会を強力にサポートしていきます。



パートナーシップ締結の背景と目的

いすゞは現在、中期経営計画「ISUZU Transformation - Growth to 2030 (IX)」のもと、創造する価値を従来の商品軸から新たにソリューションへと広げ、世界の物流や人流を支える「商用モビリティソリューションカンパニー」への変革を推進しています。

ラグビー憲章に掲げられている「品位・情熱・結束・規律・尊重」というコアバリューは、いすゞのパーパス（使命）である「地球の『運ぶ』を創造する」や、ともに挑戦しな

がら成長を目指す「相互成長」の姿勢と高い親和性があります。こうした価値観を背景に、世界中で大きな盛り上がりを見せる男子 RWC、そして近年目覚ましい成長を遂げ、注目を集める女子 RWC の 2 つの世界最高峰の舞台への協賛を通じ、グローバル市場におけるブランドコミュニケーションを展開していきます。

主な取り組み

- 大会運営へのモビリティソリューションによる貢献の検討

2029 年の女子 RWC 期間中、参加チームおよび大会運営スタッフ、関係者の安全かつ円滑な移動を支えるため、いすゞの先進的なトラックやピックアップトラックなどを活用した最適なモビリティソリューションによる大会運営サポートについて、両者で具体的な協議を進めていきます。

- グローバルコミュニケーションの展開

大会を通じたさまざまな発信の機会を活用し、世界中のラグビーファンをはじめとする幅広い人々に向けて、ラグビーのコアバリューと共鳴するいすゞの価値観や、商用モビリティソリューションカンパニーへの変革に挑む姿をグローバルに伝えるブランドコミュニケーションを展開予定です。

両組織からのコメント

いすゞ 社長 CEO 山口真宏のコメント

「ラグビーワールドカップが開幕する 2027 年は、いすゞにとって設立 90 周年を迎える節目の年です。これまでいすゞを支えていただいたお客さまをはじめ、世界中の皆さまに心より感謝申し上げます。この節目を新たな出発点として、いすゞはさらなる成長と変革に挑戦してまいります。世界中に感動を届けるラグビーワールドカップのパートナーとなり、商用モビリティソリューションカンパニーを目指す私たちの姿を世界中に発信できることを大変光栄に思います。チーム一丸となって挑戦するラグビーの精神とともに、ワールドラグビーの皆さまと力を合わせ、男子ラグビーワールドカップ 2027、そして女子ラグビーワールドカップ 2029 の成功に貢献してまいります」



ワールドラグビー CRO（最高収益責任者） ミッシェル・プソー氏のコメント

「男子ラグビーワールドカップ 2027 および女子ラグビーワールドカップ 2029 のオフィシャルオートモーティブパートナーとして、いすゞ自動車をワールドラグビーファミリーに迎えられることを大変嬉しく思います。ラグビーが成長とグローバルな広がりという新たな時代を迎える中、いすゞのような世界トップクラスの企業とのパートナーシップは、競技そのもの、そしてファンにとって新たな可能性を切り拓く力となります。オーストラリアでの開幕まで1年を切り、男子ラグビーワールドカップ 2027 への期待と機運は急速に高まっています。また、女子ラグビーワールドカップ 2029 は、ラグビーがこれまで遂げてきた目覚ましい成長をさらに加速させる大会となるでしょう。いすゞと緊密に連携しながら大会運営を支えるとともに、世界中のファンに感動を届け、人々をつなぐ、素晴らしい2つのラグビーワールドカップをともに創り上げていくことを楽しみにしています」

【関連情報】

[ワールドラグビーWeb サイト](#)

以 上